

事務事業名		農業委員活動事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業																								
政策体系	政策名	015 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間		予算科目																								
	施策名	210 産地化をめざした農林業の振興				会計	款	項	目																					
	基本事業名	011 農業経営の安定化				01	06	01	01																					
根拠法令		農業委員会等に関する法律・農地法		<input type="checkbox"/> 単年度のみ		01 06 01 01 00																								
所属	部課名	農業委員会事務局		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 昭和26 年度～)				※全体計画欄の総投入量を記入																						
	課長名	近江 学		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】																										
	係名	農地係	電話	27-3111	年度～	年度																								
	担当者	細谷 真実	内線	356																										
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)																										
<p>公選農業委員16人、議会推薦農業委員3名、農協・共済組合推薦農業委員各1名の21名の委員が、農業委員会業務や活動を行うための事業である。(平成29年11月まで経過措置期間)</p> <p>主な業務内容は</p> <p>①法定業務(総会審議、農地利用の最適化の推進、市町村への意見の提出)</p> <p>②任意業務(経営合理化の推進＝関係機関との仲介による農業経営の支援(マスタープラン、家族経営協定等))</p> <p>③耕作放棄地解消に繋がる「農地の日」の活動などの農業委員活動の推進</p> <p>主な支出は、人件費である月毎の農業委員報酬である。</p>				<table border="1"> <tr><td rowspan="6">総投入量 (千円)</td><td rowspan="3">事業内訳</td><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>都道府県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td></td></tr> <tr><td>事業費計(A)</td><td>0</td></tr> <tr><td rowspan="3">人件費</td><td>正規職員従事人数</td><td></td></tr> <tr><td>延べ業務時間</td><td></td></tr> <tr><td>人件費計(B)</td><td>0</td></tr> <tr><td>トータルコスト(A)+(B)</td><td>0</td></tr> </table>				総投入量 (千円)	事業内訳	国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他		一般財源		事業費計(A)	0	人件費	正規職員従事人数		延べ業務時間		人件費計(B)	0	トータルコスト(A)+(B)	0
総投入量 (千円)	事業内訳	国庫支出金																												
		都道府県支出金																												
		地方債																												
	その他																													
	一般財源																													
	事業費計(A)	0																												
人件費	正規職員従事人数																													
	延べ業務時間																													
	人件費計(B)	0																												
トータルコスト(A)+(B)	0																													

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		(5) 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
<ul style="list-style-type: none"> 農地の現地調査やパトロール・指導を行った。 地区集会へ出席し、マスタープランの調整に協力した。 「農地の日」の椿植栽・椿生息地調査等農業委員活動を実施した。 		ア	農地現地調査・パトロール件数
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	総会・集会等会議出席件数
<ul style="list-style-type: none"> 前年度と同じ。 		ウ	農地の日等農業委員活動日数
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		(6) 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
農業者・農地所有者		名称	
		単位	
		カ	農業者数
		キ	
		ク	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		(7) 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
農地法を遵守させ、農地を保全するとともに、農家、地域の実情や意向を把握し、農業者の経営を安定させる。		名称	
		単位	
		サ	農業者からの相談・農業者への指導件数
		シ	遊休農地解消面積
		ス	家族経営協定締結数(新規)
④ 結果(基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
農産物が安定して高く売れる。			

(2) 総事業費・指標等の推移									
		年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)	
投入量	事業内訳	千円							
		国庫支出金							
		都道府県支出金	千円	2,022	2,158	2,177	2,106	2,190	1,900
		地方債	千円						
		その他	千円						
	一般財源	千円	5,476	5,841	5,468	5,638	5,492	5,689	
	事業費計(A)	千円	7,498	7,999	7,645	7,744	7,682	7,589	
	人件費	人	4	4	4	4	4	4	
	延べ業務時間	時間	1,500	900	700	900	1,200	1,200	
	人件費計(B)	千円	6,000	3,600	2,800	3,600	4,800	4,800	
トータルコスト(A)+(B)	千円	13,498	11,599	10,445	11,344	12,482	12,389		
⑤活動指標	ア	件	206	218	220	195	186	190	
	イ	件	306	373	493	459	383	390	
	ウ	日	1	5	5	6	10	10	
⑥対象指標	カ	世帯	1,594	1,472	1,412	1,295	1,010	1,010	
	キ								
	ク								
⑦成果指標	サ	件	67	165	156	218	148	150	
	シ	ha	0.3	0.6	0.68	0.71	0.46	2	
	ス	件	0	4	4	0	0	1	

事務事業ID	0743	事務事業名	農業委員活動事業
--------	------	-------	----------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	昭和26年に農業委員会等に関する法律が制定されたことにより、同法に規定する所掌業務に基づき実施するもの。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	<ul style="list-style-type: none"> 平成13年11月に大船渡市と旧三陸町が合併したことにより、平成17年7月の改選期から農業委員定数が減少した。 委員に対しては、政府の男女共同参画促進の見地から、女性農業委員の登用が求められている。 平成21年法改正による農地パトロールや東日本大震災後の転用件数が4倍に増加するなど、農業委員の活動量が大幅に増えた。 平成28年4月施行の農委法改正により農業委員は公選から市の選任になった。また農地法改正により農業委員の法定業務も変更し、農地利用の最適化の推進が新たな法定業務となり、耕作放棄地対策等が強化された。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	・県農業会議からは、今まで以上に「農業委員活動の見える化」が求められている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ 農産物の生産資源である農地の有効利用を推進する農業委員会活動事業は、農業の振興という施策に結びつき、国の推進する食料自給力向上の観点からも重要性が高まっている。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ 農業委員会等に関する法律及び農地法に則った事業である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 市内全域の農地と農業者を対象に活動している。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 新しい法定業務である「農地の最適化」であるが、耕作放棄地対策・六次産業化を例年実施している農業委員ボランティア活動に計画的に組み入れることで成果が期待できる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 地域農業の現状や農業者の声が市の農業施策に反映される機会がなくなり、地域の現状に合わせた農業施策が行われなくなるおそれがある。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒(具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 農業委員会等に関する法律及び農地法に基づく業務であり、他に類似事業・類似団体はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 主な支出である農業委員の月額報酬については、「大船渡市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例」に定められており、県内平均より低いこと、震災関連業務量が增大している事からも適正である。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 平成26年基盤法改正、平成27年農委法・農地法改正や、震災関連の業務が増えている中、臨時職員を配置して対処しており、これ以上の削減はできない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 市内の農業者全体を対象とする業務であるので、受益機会・費用負担は公平・公正である。

事務事業ID	0743	事務事業名	農業委員活動事業
--------	------	-------	----------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
<table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①各種法改正に対応する調査や農地パトロールを実施して、農業者への指導を行った。 ②研修・地域集会等に積極的に参加した。 ③農業委員活動として椿の産業化を推進した。(被災農地への植樹・市内全域生息調査・各種祭り企画等)											
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)		(4) 改革・改善による期待成果																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) ・法定業務を円滑に遂行するため、各種研修を行う。 ・椿の産業化の推進を継続して行う。		左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		●																					
	維持			×																				
	低下		×	×																				
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 ・研修は、総会終了後とすることで、日程調整の煩雑化を防げる。 ・農業委員活動を維持していくためには、他団体・市の他課との協力が必要であり、情報交換を密にする。																								

(職名) ※原則として施策の主管課長 (氏名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	農業委員会事務局長	近江 学
-------	-----------	------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合																								
①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) <input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい <input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある <input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている ②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) <input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されていない) <input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある <input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																								
(2) 2次評価者としての評価結果		(3) 評価結果の根拠と理由																						
<table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	新たに法定化された農地中間管理機構関連業務をはじめ、各種業務について、農業委員主導による活動への移行をさらに進めていく必要がある。											
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)		(5) 改革・改善による期待成果																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 法令業務の履行を推進し、併せて各種研修会への積極的な参加を促すなど、農業委員としての資質の向上を図るとともに、自覚を高めるための取り組みを進めていく。		左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		●																					
	維持			×																				
	低下		×	×																				

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
